

リリースノート: Dominion® SX II ソフトウェア (バージョン 2.0)

日付: 2015 年 8 月 24 日

該当する SX II モデル:

電話なしモデム:	DSX2-4、DSX2-8、DSX2-16、DSX2-32、DSX2-48
内蔵電話モデム:	DSX2-4M、DSX2-8M、DSX2-16M、DSX2-32M、DSX2-48M
DC 電源モデル:	DSX2-8M-DC、DSX2-32M-DC、DSX2-48M-DC

リリースステータス: 一般向け提供

Dominion SX II の概要:

Dominion SX II は、IT 管理者・ネットワーク管理者がいつでも、どこからでも、安全な IP 経由でシリアル機器にアクセスし、制御できるラリタンの次世代シリアルコンソールサーバーです。新しい SX II は市場でも最もパワフルで、セキュアで、信頼性も高く、使いやすい Serial-over-IP コンソールサーバーです。リリース 2.0 は、Dominion SX II の初期ファームウェアリリースです。リリース 2.0 ファームウェアは、各 SX II モデルに標準装備されています。

Dominion SX II ドキュメント:

Dominion SX III に関する次のユーザー向けドキュメントをご用意しております。

Dominion SX II ユーザーマニュアル – SX II のローカルおよびリモートブラウザベースのユーザーインターフェース、および一般的な使用に関するマニュアルです。

Dominion SX II クイック セットアップ ガイド – SX II の初期設定について説明します。

Dominion SX II ドキュメントは、ラリタンの Web サイト (www.raritan.com/jp) から入手いただけます。[Support] (サポート) セクションにアクセスし、[Dominion SX II] を選択してください。

Dominion SX II オンラインヘルプ:

オンラインヘルプシステムをご利用いただけます。SX II Web ベースユーザーインターフェースから情報パネルの左にある [Help] (ヘルプ) > [Online Help] (オンラインヘルプ) をクリックすると、オンラインヘルプシステムが起動します。[Contents] (目次)、[Index] (索引)、[Search] (検索) の各タブから、適切なトピックを参照することができます。Dominion SX II ユーザーマニュアルは、テキストや画像を含む全体を参照いただけます。また、同マニュアルには多くのリンクも記載されています。

ラリタン製品のオンラインヘルプは、下記のラリタン Web サイトでご参照いただけるようになりました。

<http://www.raritan.com/landing/product-online-help>

Dominion SX II シリアルアダプター:

Dominion SX II では次のシリアルアダプターを使用して、DB9/DB25 ポート搭載のシリアル機器やラリタンの PDU に接続できます。

ASCSD9F	RJ-45(F)⇔B9(F) シリアルアダプター
ASCSD9M	RJ-45(F)⇔DB9(M) シリアルアダプター
ASCSD25F	RJ-45(F)⇔DB25(F) シリアルアダプター
ASCSD25M	RJ-45(F)⇔DB25(M) シリアルアダプター
CSCSPCS-1	1' Cat5e RJ-45(M)⇔RJ-45(F) アダプター (Raritan PX または RPC ラック PDU への接続用)
CSCSPCS-10	10' Cat5e RJ-45(M)⇔RJ-45(M) ケーブル (Raritan PX または RPC ラック PDU への接続用)

互換性情報 (リリース 2.0):

1. **Dominion SX II では、2015 年 10 月に発売となる新しい CommandCenter リリース 6.1 が必要です。**
2. **現在の CommandCenter リリース 5.x および 6.0.x は、Dominion SX II をサポートしていません。**
3. **SUN Java™ Runtime Environment (JRE) バージョン 7 および 8 はサポートされます。SX II では、Java バージョン 6 はサポートされません。**
4. 次の表は、このリリースでのテスト済みの Java 最新バージョンを記載しています。SX II は、今後のバージョンの Java にも対応していく予定です。Java 開発者が新しいバージョンの Java に互換性のない変更を行った場合、SX II ファームウェアのアップデートが必要となる場合があります。

Java に関する問題がございましたら、ラリタンの Web サイトで SX II およびメインのサポートページをご確認いただくか、ラリタンのテクニカルサポートまでご連絡ください。

JRE	テスト済み最新のアップデート
Java 7	アップデート 79
Java 8	アップデート 51

Java の使用に関する推奨事項:

- ・ Java プラグインキャッシュを**無効**にすることをお勧めします。
 - ・ セキュリティを最大限にし、Java およびブラウザの警告メッセージを最小限に抑えるために、各 SX II スイッチにそれぞれの SSL 証明書をアップロードすることをお勧めします。
 - ・ ラリタンの Java アプレットをロードするには、すべてのセキュリティ警告に同意のクリックをする必要があります。
 - ・ 上記 JRE バージョン情報は、Dominion SX II をスタンドアロンで使用する場合に適用されます。CC-SG と併せて使用する場合は、CC-SG のリリースノートおよび互換性マトリックス (Compatibility Matrix) を参照してください。
5. SX II に接続したシリアル機器は、以下を経由して、Web ユーザーインターフェースにアクセスすることができます。

リモート クライアント	説明
Raritan Serial Client (RSC)	Java ベースのクライアントで、Web ベースのリモートユーザーインターフェースから実行します。バージョン 3.0.0

6. 次の表は、このリリースでのテスト済みのブラウザ最新バージョンを記載しています。ブラウザに互換性のない変更が行われた場合は SX II ファームウェアのアップデートが必要となりますが、SX II は今後のバージョンのブラウザにも対応していく予定です。何か問題がございましたら、ラリタンの Web サイトで SX II およびメインのサポートページをご確認いただくか、ラリタンのテクニカルサポートまでご連絡ください。

ブラウザ	テスト済み最新バージョン
Internet Explorer	11
Firefox	39
Chrome	43

7. **セキュリティ情報。** このリリースでは、**Openssl バージョン v1.0.1m** が使用されています。SX II は、SSLv2 または SSLv3 をサポートしていません。最高レベルのセキュリティを実現するため、SX II は TLS のみをサポートしています。サポートされているバージョンは、TLS v1.0、v1.1、v1.2 などです。

留意事項および重要な情報 (リリース 2.0):

- DTE/DCE 自動検知。** DTE/DCE 自動検知を行うシリアル機器に接続するときは、SX II シリアルポートを強制的に DTE または DCE にすることが必要となる場合があります。これは、[Serial Port Settings] (シリアルポート設定) から行うことができます。
- デュアル LAN ポート。** SX II の 2 つの LAN ポートのデフォルト動作は、それぞれ独立しており、自動フェイルオーバーはされません。自動フェイルオーバーにする場合は、[Network Settings] (ネットワーク設定) ページで設定を変更するか、admin > Config > Network コマンドを使用します。SX II では、LAN1 のデフォルトの IP アドレスは 192.168.0.192 に設定されており、クロスオーバーケーブルを介して初期設定をサポートしています。
- ファクトリリセットボタン。** バックパネルの [Reset Button] (リセットボタン) を使用する際に最善の結果を得るには、下方の USB スロット (ある場合) から USB プラグを取り外します。デバイスのブート中に [Reset Button] (リセットボタン) を押すと、ブザーが鳴りません。
- SX II ローカルポートの拡張。** ラリタンの Cat5 Reach DVI 製品を使用して、データセンター外の SX II のローカルポートを拡張します。ラリタン T1700-LED を使用したラック前アクセス、また、SX II の DVI-D および USB ポートを使用した DVI-D and USB ラックマウントキーボードドロワーが可能です。
- 3G/4G ワイヤレスモデム。** Sierra Wireless GX440 Broadband モデムは、緊急時のワイヤレスでのアクセス用モデムとしてサポートされています。現在は、このモデムのみが公認としてサポートされていますが、今後、ほかのモデムもサポートされる可能性があります。モデムは、USB 接続で SX II に接続されます。SIM カードは、お使いのワイヤレスキャリアのもの、およびモデム用の静的 IP アドレスが必要です。モデム設定の指示事項については、ユーザーマニュアルまたはオンラインヘルプをご確認ください。
安全なアクセスのためには、SX II のファイアウォール「iptables」機能を使用するか、モデム自体のファイアウォール機能を使用してください。セキュリティを高くするため、デフォルトの「admin」アカウントの名前を変更することをお勧めします。
- FIPS 140-2 暗号モジュール。** FIPS 140-2 モードは、Raritan Serial Client (RSC) の使用時のみサポートされます。ほかの Serial Client (例: Putty) についてはサポートされません。
- セキュリティに関する推奨事項。** セッションの暗号化を行わない Telnet ではなく、SSH クライアントをご使用ください。FIPS モードを使用していない時は、暗号モードを AES に設定してください。信頼できる証明機関から SX II にカスタム証明書をインストールします。セキュリティを厳しくするため、接続クライアントの TLS v1.0 を無効にし、TLS v1.2 を使用します。
- RC4 暗号。** 最新バージョンの Java では、より脆弱な RC4 暗号へのサポートが中止されています。これにより、Raritan Serial Client が起動できなくなります。当社でテストを行った Firefox を含め、一部のブラウザは RC4 をサポートしていません。「AES」または「Auto」(自動) 暗号モードをご使用ください。
- 自動設定。** セキュリティ上の理由から (認証されていない設定の回避)、SX II 管理者は、USB スティックまたは TFTP 経由での自動設定を最初に有効化しておく必要があります。
- ファームウェアのアップグレード。** SX II ファームウェアのアップグレードは、ほかの Dominion 製品と同様に、Web ベースの GUI から行います。古い SX FTP ベースの方法は、CLI から行うことができます。
- 距離に関する指示事項。** シリアル接続の信頼性を高めるには、シリアル機器から SX II (Cat5/6 ケーブル) までの距離に関する次の指示事項に従ってください。

ポー レート	距離 (フィート)
2,400	300
4,800	200
9,600	100
19,200	50
38,400	25

57,600	16
115,200	8
230,400	4

ファームウェアのアップグレード:

ラリタンでは、ソフトウェアの強化、新機能、改良などを含む、ファームウェアのアップグレードリリースをご提供しています。アップグレードは、ラリタンの Web サイト (www.raritan.com/jp) で入手いただけます。[Support] (サポート) ページの [Choose a Product] (製品を選択してください) ボタンで [Dominion SX II] をクリックしてください。

新しいファームウェアリリースがあるかどうか確認します。リリースノートもご用意していますので、ご確認ください。リリースノートには、(a) 新機能/強化点に関する概要説明、(b) 重要なオペレーション上の指示事項、(c) ファームウェアアップグレードに関する指示事項が記載されています。デバイスをアップグレードする際は、リリースノートの指示に従ってください。なお、ファームウェアのアップグレードに FTP サーバーは不要になりました。ただし、この方法は、CLI からまだご使用いただけます。

ファームウェアのアップグレードの前提条件:

何か問題がある場合、または下記の前提条件を満たさない場合は、アップグレードを中止し、ラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。アップグレードを行う前に、指示事項すべて (本ドキュメント) をお読みください。

アップグレードに関する一般的な指示事項 (Web ベースのユーザーインターフェース):

1. **注:**ファームウェアのアップグレードを適用する前に、SX II デバイスをリポートしてください。リポートにより、ユーザーがログインしていないこと、またはセッションがアクティブでないことを必ずご確認ください。
2. SX II デバイスをアップグレードするユーザーは、元から Admin (管理者) グループのメンバーで、アップグレードに十分な特権を持っている必要があります。
3. アップデートの完了には、最大 20 分かかります。
4. アップグレードを開始する前に、[Maintenance] (保守) メニューの [Backup / Restore] (バックアップ/復元) 機能を使用して、SX II をバックアップすることをお勧めします。
5. Dominion SX II ユニットに接続されているすべてのデバイス (サーバー、ケーブルタップ、シリアル機器) について、リモートまたはローカルの SX II セッションを終了してください。
6. VPN 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合は、接続が安定しており、非アクティブ時のタイムアウトがオフになっていることを確認してください。
7. アップグレードの実行に関する詳しい説明は、下記を参照してください。
8. ソフトウェアのアップグレードはフラッシュメモリに書き込まれ、完了まで時間がかかります。アップグレードの進行中は、ユニットの電源をオフにしたり、Ethernet を切断したりしないでください。
9. SX II ファームウェアは、CC-SG によってアップグレードすることができます。そのほかの情報については、CC-SG ドキュメントを参照してください。
10. アップグレードがうまくいかない場合は、ラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。

段階的なアップグレードに関する指示事項:

1. **注:**ファームウェアのアップグレードを適用する前に、SX II デバイスをリポートしてください。リポートにより、ユーザーがログインしていないこと、またはセッションがアクティブでないことを必ずご確認ください。
2. Internet Explorer (またはそのほかのサポート対象 Web ブラウザ) では、ご使用の Dominion SX II ユニットの IP アドレスを入力し、Web ベースのインターフェースのロードが完了するまでお待ちください。

3. 管理者ユーザー [admin] (管理者) (または Admin グループのほかのメンバー) としてログインします。
4. [Maintenance] (保守) メニューで [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード) コマンドをクリックします。
5. ブラウズしてアップデートを含む .rfp ファイルを探します。[Upload] (アップロード) ボタンをクリックします。現在および新しいバージョンが表示されます。[Upgrade] (アップグレード) ボタンをクリックしてアップグレードを開始してください。
6. ファームウェアのアップグレードが実行されます。
 - a. アップグレード中は、SX II を実行することはできません。
 - b. アップグレードパネルに、アップグレードの進行状況が表示されます。このアップグレード手順には、最大 15 分かかりません。

アップグレード中またはリポート中は、SX II のリポートまたは電源の入れ直しは絶対にしないでください！
 - c. アップグレードが完了すると、完了メッセージが表示されます。
7. デバイスをリポートおよびリセットします。これには、5 分程度かかることがあります。
8. リポートが完了したら、Web ブラウザのセッションを終了し、再度ログインしてください。
9. SX II では、アップグレードが完了するとブザー音がなり、ログイン画面がローカルコンソールポートに表示されます。
10. Web ブラウザ、CLI、またはローカルポートから、再度ログインしてください。[Maintenance] (保守) メニューの [Upgrade History] (アップグレード履歴) レポートを使用して、アップグレード状況を確認します。
11. アップデート時にご質問事項または問題が生じた場合は、ラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。

Dominion SX II リリースノート (リリース 2.0)、修正版 1.0

2015 年 8 月 24 日

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc. から書面による承諾を得ることなく、本ドキュメントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。

Copyright ©2015 Raritan, Inc. CommandCenter、Dominion、ラリタン社のロゴは、Raritan, Inc. の商標または登録商標です。無断で転載することは禁じられています。Solaris および Java は、Oracle, Inc. の商標、Windows、Windows Vista、.Net は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Apple、Mac、Safari、iPad、iPhone は Apple Inc. の商標または登録商標です。そのほかのすべての商標は、各所有者の所有物です。